

阪急茨木市駅西地区における都市計画案に関する説明会

【日 時】令和2年9月24日 木曜日 午後7時から午後8時45分

【場 所】茨木市役所南館 10階大会議室

【参加人数】67名

【次 第】

- ・茨木市挨拶
- ・都市計画案に関する説明
- ・質疑応答

【質疑概要 ○：参加者 ●：茨木市】

- 阪急茨木市駅とJR茨木駅の間は、建築物の高さ制限が設けられているが、このような計画を阪急茨木市駅周辺で行うのであれば、その周辺も制限を撤廃してもらわないと納得できない。
- 当計画地は用途地域が商業地域、高度地区が第8種高度地区の指定がされており、43メートルの高さ制限が設けられていますが、市街地再開発事業により建築される建築物については、その高さ制限を適用しないという規定があるため、その中で計画をしていく考えです。
- 今のニーズに応じたまちづくりを進めるのであれば、高さ制限が必要かどうかということも考えてほしい。一部だけでも高さ制限を撤廃してもらいたいと思う。
- 平成22年に本市のまちづくりを考えていく中で高さ制限を行いました。ご意見は今後の参考にさせていただきたいと思います。

- 参加の申し込みの電話を2,3日前にしたところ、9時を過ぎても電話が全然繋がらなかった。開かれた市役所に全然なっていない。責任者の方の考え方を聞かせて欲しい。しかも、受付のために名前と住所と電話番号を聞かれる。そんなに大層なものなのか。
- 電話が繋がらなかったことについては大変申し訳ありませんでした。今回、事前申し込みをお願いしたのは、新型コロナウイルス対策として参加者の名簿を作成し、万が一に備える必要があったことと、参加者の人数を把握し、会場を準備する必要があったためそのような対応を取らせていただきました。
- 2コア1パークと言っているが、阪急茨木市駅周辺だけではなく、両駅を繋げていくためにもJR茨木駅の整備も必要。市民目線に立つと、阪急茨木市駅やJR茨木駅のそれぞれの乗降客数や利用者の属性、両駅がそれぞれ果たす機能や役割分担などももう少し数字を出して分析した話が聞きたかった。JR茨木

駅の方が古いはずなので、権利者との話もあるかもしれないが、先に阪急茨木市駅を再整備するのは不思議に思う。どう JR と繋げていくのか。自分たちだけで決めてしまいたいのもかもしれないが、広報誌には載っているが、周知活動ももっと真面目に広げてやらないといけない。

- JR 茨木駅周辺も老朽化が進み、何とかしないとイケないという課題認識はしており、西口については、再整備に向けた取り組みも進めているところです。ただ、両駅の再整備を検討していく中で、事業検討の熟度に差があり、阪急茨木市駅を先に進めるということで考えています。また、JR 茨木駅と阪急茨木市駅の違いについては、JR 茨木駅エリアの整備コンセプトとしては、広域との繋がりやエキスポシティのような大規模施設が周辺に多数あるということで「惹きよせる」というイメージワードでたくさんの人たちを引き寄せるような機能が備わるエリアとして整備を検討していきます。一方、阪急茨木市駅エリアは「繋がる」というイメージワードで、茨木別院などの歴史的な資源や商店街、昔ながらの住宅等もたくさんあるので、その辺りとの繋がりを大切にしまちづくりをしていきたいと考えています。

○市民意見を広く聞くと言いながら、それに対する意見を聞く期間が短すぎる。協力関係を築き、市に訴えて意見を通すためには余りにも期間が短い。市民と作っていくと訴えているが、言葉だけでスケジュールに全く表れていない。

- 都市計画法で手続きの期間が決められているため、期間が短いと感じてしまうかもしれませんが、ご理解の程よろしくお願いします。

○法律で決まっているため、期間は変更する気がないということでもいいか。

- 期間の変更は法令で定めがあるためできないが、それ以外の期間であってもご意見をシャットアウトするという考えはありません。都市計画法案に関してのご意見はその期間にお願いしたいところですが、その他様々なご提案等であれば、日々受付をさせていただいて、市民の皆様のご意見を反映できるよう心がけていきたいと思えます。

○阪急阪神不動産(株)と(株)大林組が計画を立てており、市民の意見の入る余地が全くないように感じる。地権者と阪急で大きく決めるのは当たり前という考えがあるかもしれないが、市民の意見が本当に反映させる意識があるのかどうか。

- 今年の 6 月から 7 月にかけて、阪急茨木市駅西口駅前周辺基本計画(案)を市のホームページで公開し、意見募集を行いました。他にもこのような場でご意見を頂いて、それを反映させたり、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

○自分は大阪万博のときに阪急茨木に憧れて移り住み、これまで 50 年間ずっ

と阪急で過ごしているが、阪急茨木市駅だけが廃れローカルになっていった。JR側は立命館大学もでき、開けてきたが、阪急側の人間にとっては、夢も希望もないような状況が続いていて、やっとかという思い。若い人が阪急茨木市駅に来て楽しく過ごせる場所を作って欲しいと思っているが、このまま放っておけば、楽しい阪急茨木市駅になるとは思えない計画になっている。もっと色々な市民の意見を聞いてほしい。個人の希望としては、とにかく皆が集まり、楽しく、芸能人を呼べるような施設を作って、もっと賑やかな阪急茨木市駅になって欲しい。世界を見ながらもう少し先端の店舗を作っていくと、今の計画のまま高いマンションを建てるだけの計画でいいのかなと不安を感じる。これからの計画が楽しみだが、細かいところは女性の意見も入れていかないとこれからは発展しない。どれだけ辛抱してこれまで過ごしてきたか。これからは意見も色々言わせてもらおうと思うが、期待をしているので、その点は汲んでもらえると嬉しい。

- 検討に長くかかってしまっているというところは大変申し訳ないと思っています。今年度に入り、皆さんに説明できる状況になってきたというところで、今年度特に力を入れて進めさせていただいています。6月に阪急茨木市駅西口駅前周辺整備基本計画（案）を公表し意見募集をした中でも、「やっとかしてくれるのか」という期待を示されるようなご意見もいただいております。女性の目線が重要とのご意見もその通りであり、今後の取り組みの中でも意識していく必要があると考えています。今日は都市計画の決定という事業の枠組みを決めるというところで、細かいところの施設がどうなるというところはまだまだ先になりますが、これからも市民の皆さんのご意見をいただきながら、市民ニーズに応えられる施設の誘導を考えていきたい。

○ フェーズ2で、中央通りの一方通行化の計画が書かれているが、今の時点で、どちら回りの一方通行化を考えているのか。

- 具体的にいつどうなるかというのはありませんが、おそらく時計回りになるのではないかと思います。一方通行化については、行政だけで一方的にできる話ではなく、特に沿道で生活をされている方のご意見をよく聞きながら実現に向けて進めたいと考えています。一方通行化により歩道を広くすることで、居心地の良い、歩いて楽しい空間を目指して今後市民の皆様ととともに取り組んでいきたいと考えています。

○ 先ほどから市役所のホームページで広告宣伝をして意見を求めたとおっしゃっているが、年配の人間にはそれを見ることも難しい方もいるし、各自治会

に配布するとか、オープンな場所で窓口を設けるとか、誰でも意見が言えるような場所を作っていたらありがたいと思う。

●今後の取り組みの際には工夫したやり方を検討していきます。

○もし意見書を提出した場合、都市計画審議会には要約されたものが提出されるのか、全文が提出されるのか。今回の説明会での議事についても、都市計画審議会の委員の方が判断される際の参考資料として提出していただけるのか。

●今回の説明会での意見や提出された意見書については、都市計画審議会にこういう意見があったということを報告し、概要としてまとめた形で審議会の方に提出します。また、参考的に出てきた原文そのものは名前を削除した上で、参考資料として付けるという形にしています。審議会の学識経験者が見る上では、概要をまとめたものをポイントで見てもらおうと、ただそれではわかりづらいということもあるので、出てきた意見書を原文のまま、参考資料でつけるという形をとっています。それに対して市の考え方も資料として付けるという形になるので、出てきた意見そのものは、委員の皆さんに目が通るような形で資料提供いたします。

○将来的に東に交通の拠点を持っていくという話があったが、西口の馬蹄形のバスターミナルには、バスが来なくなるってことか。

●まず東口に交通機能に移すという整備については全てのバスを東口の方へ移し、西口は交通機能をなくして、広場として活用していければと考えています。ただ、今の東口のみで交通機能に移すことはできないので、東口も再整備をして、交通機能に移せる機能を整備した後で、東口に移すことができればと考えています。

○中央通りの西から東に向かうところは1車線しかとれないと思うが、例えばバスがバスターミナルに入ろうとしたときに、そこで詰まってしまい渋滞が起こるのではないか。

●バスが2台は横に並ぶということできませんが、普通乗用車であれば、横を通過していくことはできます。

○詰まって渋滞が生じるのであれば、吉野家があるビルまで再整備の区域に入れ、車線数を増やすことを検討された方がいいのかなと思いました。

●今後、交通管理者である警察とも協議を重ねながら、必要な対策を検討していきたいと考えています。

○今回の計画地区の南端の三角形はどう活用されるのか。

- 今現在、路線バス、タクシー、企業や大学の送迎バスが混在していて混雑している課題を解決するため、大学や企業用の送迎バスを南側に集約させ、駅前広場は公共交通（路線バスやタクシー）のみとする予定です。

○2点お伺いしたいのですが、医療機能の導入というのが、東側の方だったと思うのですが、該当する地域に医療機能を導入する上で、民間例えば土地の所有者様であったりだとか、テナントの所有者様のほうで、個人の中で行える土地の活用の中で、市からサポートや、支援がいただけたりするのかというところが1点。

それから2点目、阪急商店街を活性化するとあったと思うんですが、現状コロナウイルスの影響や、老朽化の煽りを受けて結構撤退する店舗も増えている現状、また学生向けマンションが中に建築されている中で、駅ビルの北側の方に店舗が入る商業施設ができるとあったので、それがあると、もしかしたら悪化しかねない。活性化というよりはむしろ悪くなってしまっているのではないかという意見もあると思うんですけれども、老朽化しているように見える中で、アーケードから錆水が落ちたりとかそういったところが見えている部分もあるので、今現状で結構なので、検討されている点、こういうところを改善していこうという点がもしあれば、教えていただきたいなと思います。

- 東口の医療機能の導入については、東口に市営の双葉町駐輪場・駐車場があり、そこに病院誘致の検討を進めています。これについては、今どういう病院を誘致するかという基本構想をつくって、進めていくという取り組みを行っているところです。

商店街につきましては、中心市街地の活性化基本計画を昨年度策定して、空き店舗の活用や、今後様々な取り組みをやっていくことになっています。また、まちづくり会社が昨年度立ち上がり、まちづくり会社と活性化に向けた取り組みを今後実施していくことになっています。

○大きく四つほどお聞かせいただきたいのですが、今回いろんなイメージを載せていただいて、この2コア1パークみたいなイメージがちょっとわからないのですが、何かどこかの都市ですとか、モデルにしているところがあたら教えていただきたいなと思います。

二つ目が、今後の情報発信というのは、何を見たら、常にその情報を拾うことができるのかというのをお聞かせいただきたい。今回ツイッターで知ったんですけど、大体5日ぐらい前に、投稿されたかなと思うんですね。もっと前に計画をされていたと思うので、できたらもうちょっと前に、アップして頂きた

かった。

三つ目に今後のスケジュールの目途が知りたいなというところで情報発信と合わせて、今後こういうタイミングで、こういう内容の説明会をしていきますっていうのを、できるだけ長いロードマップで見せていただけるとより参加しやすいなと思っています。

最後、四つ目なんですけど、今回、もしかしたら検討されたのかもしれないんですけど、できたらオンラインでも配信していただけないかなと思っていました、妻も参加したかったんですけど、子供がいたりして、2人とも参加するのが難しいので、僕だけ来させてもらってます。あと、オンラインにさせていただきたい理由が、先ほどのパワーポイントの斜め下にあったんですけど、前回の意見を集めた際の人数が69人ということですのですごい少なかったなと思ったんですね。こんなにたくさんの方がいるまちで69人しかそのタイミングで意見を出せてないっていうのは、やっぱり前の意見にもありましたけど、あまりオープンとは言いがたいのかなっていうのがあるので、いろいろひっくるめて、オンラインですとかそういった環境を広げて多くの方にもっともっと良くなる茨木市を知っていただくような場があるとよりよいかかなと思っています。

すごいあの手厳しい意見が多いなと思って聞いていたんですけど、個人的には、今年はコロナであんまりないですけど、いろんなイベントとか開催していただいて、すごく好きなまちなので、10年20年30年の計画、一緒に見ていきたいなというふうに思ってます。

- まず一つ目の2コア1パークについて、ほかの都市やまちを真似てではなく、両駅が比較的近い位置にあり、その中央に市役所・中央公園がある立地特性から2コア1パークというものが出てきたということで他をモデルにしたものではありません。

情報発信について、ツイッターにアップしたのが5日前で、今までは市の広報誌とホームページで情報発信するのが一般的なやり方でしたが、ツイッターとかフェイスブックにもアップしようという判断が間際でした。

今回、ツイッターとかフェイスブックに掲載して劇的に参加人数が増えたので、活用することによる可能性を改めて発見したところです。このツイッターとかフェイスブックなども活用しながら、皆さんに情報発信できるような取り組みを今後考えていきます。

それと、オンラインでの配信について、特に今年に入ってコロナウイルスの影響があり、なかなか集まるということもしづらいというところがありますので、そういうことも踏まえ、今後オンライン配信も考えていければ、多くの市民の皆さんに知っていただく機会になると思いますので、今後の取り組みの参考にさせていただいて検討していきます。

○先ほどおっしゃっておられた市民の意見をシャットアウトする気はない。反映させるようにしたいとおっしゃっておられましたけど、実はシャットアウトされました。この西口駅前開発に関する説明会があったんですけどそこで、超高層建築物の位置を変えるつもりはない。その計画を変えるつもりもないとおっしゃっておられました。超高層建築物についてもうちちょっと詳しくご説明いただきたいと思います。気になっておられる方も多いと思います。超高層建築物はどんなものが何階建てなのか、50階なのかどうなのか。どの場所なのか。はっきりとご説明いただきたいと思います。と申しますのは、こういったことを決める都市計画審議会があると思うんですけど、そこでの資料約50ページあると思います。そのうちの半分以上を費やして超高層建築物についての議論がなされていたはずなんです。しかし今日ではほとんどありませんでした。詳しいご説明をお願いします。

●まず、超高層建築物について今日説明がないというところですけども、今日の説明はあくまで都市計画案のご説明という場ですので、超高層建築物がどのようなものか細かい説明は省かせていただいたというところなんです。

それと何階建て何メートルというところについて、今現在、決まったものはありませんが、ここは容積率600%のところになります。計算上、600%の今の都市計画のルールを守りながらでいくと、45階建て150メートルぐらいというところで、まだ、敷地の規模、間取りなどが決まってない中なので、十分変更の可能性があり、決まったものではないというところでご理解いただきたいと思います。建つ場所については、南側の三角の交通と書かれた北側、ちょうど市営駐車場がある辺りで計画をしているところです。

以前の説明の中で、変更をする考えがないとお答えしたのは、基本計画案を公表してそれに対してご意見をいただいた中で、確かに直近にお住まいの方からは、超高層建築物に対して不安を覚えられるご意見がたくさんあったというところですが、他では超高層建築物に関してご意見がなかったというところも踏まえて、今のところ変更は考えていないという受け答えをさせていただいたものです。

○先ほど60数名しか意見が出てこなかったというお話もございました。しかし、超高層建築物についてどれほど市民の方がご存知か。ほぼ50階建てができるというのを、ご存知かというのが疑問です。私の周りで知っておられる方はほんのごく一握りでした。今回の広報に載った説明でも、建築物のことについて全く出ておりません。市から配られた町内の回覧にも載っておりません。今意見を述べておかないと、このまま進んでしまう30年後のイメージのイメージ図の通りになってしまうということかと思われれます。皆様のご意見、ぜひありましたらよろしくをお願いします。

○今、先ほどの方が言われた通り、今日は超高層建築物について、お聞きしたいなと思って来ました。ほとんどさらっと説明されただけだったので、それも含めて、周辺の整備の開発、このプランを話して欲しかったなっていうのもあります。私も立体駐車場のあたりに住んでいるんですが、やっぱり超高層マンションが建つって、さらっと聞いたんですけど、やっぱり 50 階近いものが建つんじゃないかっていう噂を聞いているんです。それに対して、最近台風もすごいものが来ますし、地震もありましたし、風害やら、何か落ちてくるんじゃないかとか。そういった不安がいっぱいあるんですね。

それも含めてやっぱり説明会ではそれも入れて欲しかったっていうのと、今水路があるんですけども、水路も綺麗に花壇にしたりとかして整備されている状態なんですけど、それも塞いでしまっただけで道路にするってお聞きしているんですが、それも多分皆さん知らないことだと思います。この開発によって今まであったものがなくなるっていうものも提示して欲しいなっていうことも感じていますので、またそういったことははっきりお伝えしていただければなと思います。

- 超高層建築物に関してご存知ない方が多いというところについては、情報発信の仕方を工夫して、皆さまにご説明をするというところは今後努めていかないといけないと思います。水路を塞いでというところにつきましても、現在が一方通行の道路で、対面通行の道路にして歩道もしっかり設けてというところで、計画の中で方法の一つとして水路に蓋をしてということを考えていますが、それについては今後、検討をしながら、どういうやり方をすればいいのかというところを考えていきたいと思います。

○今回の説明会は都市計画の説明なんですけれども、大林組さんがその事業パートナーという形で入られてるということなので、いつになればその高層マンションの説明会とかそういう形で目の前の人間には説明していただける機会をとっていただけるのか。普通のマンションでいくともう計画が決まってから住民の方に説明会があったりしますから、今回の件も同じようになり進んでから、目の前の人に説得するための説明会という形になってしまうのか。そういう場を設けてもらうことは可能でしょうか。

- 物事が決まってから先のほうで説明会をすることは考えておりません。できるだけ早く、説明できる場を設けることで検討を始めています。

○具体的には 11 月とか市のほうの計画は日程が決まっているのに、早くという漠然とした言葉しかないので、大林組さんとかも多分もう予定を組んでおられると思いますので、しっかりと予定は答えられるのではないのでしょうか。

- まだ具体的にこのあたりというのはありませんが、11 月の都市計画審議会までには開きたいと思っています。

○ホームページも今のトップページはコロナ対応なので、すぐには見つけれないので、ツイッターとか自分で探さないといけないということでしょうか。また、回覧とかしていただけるといいでしょうか。

●回覧等で周知することで調整していきたいと思っています。

○超高層ビルありきの都市開発という感じに思いますので、それが無い、高層ビルのない都市計画案がなかったのかなと思う部分があります。発想が大分偏っているといいますか、まず高層ビルを作ってお金をどんと儲けてそれから何とかしましょうというふうな話なのかなというふうに感じられます。11月に向けて計画をある程度進められているというふうな話で聞いてるんですけども、超高層ビルについて11月の都市計画審議会で意見を聞くというものがこんなに決まっていなくていいものですか。

●まず、今日の都市計画の中身で高層ビルがない案というところなんですけれども、今回の都市計画で容積率は600%のところになるというのは先ほどお話をさせていただきましたが、その600%の今の都市計画ルールは変えない中で、土地の高度利用により、超高層建築物を計画されているというところで、都市計画の変更がないというところになっています。11月の都市計画審議会で意見を聞くのにまだ具体的にないというところは、本市の場合、今回みたいに超高層建築物が建てられるような場所であっても、平成30年度に超高層建築物に関する基本的な方針を作成しており、場所の限定や超高層建築物に対して、将来にわたって課題とならない建物になることを求めています。方針において求めている内容について事業者が計画を作成し、市の超高層建築物の立地に関する基本的な方針に適合しているのか、妥当性があるかどうかというのを、11月の都市計画審議会でご意見を伺うことになっています。ということで、まだ、都市計画が決まっていない中で、建物の細かい内容が決められないというところがあります。

今は事業パートナーというところが動いていますが、そこはソシオの管理組合が選定された、お手伝いするということで、今後、事業を進めていくにあたって事業者は公募で選び直しということになり、そこから詳しい計画が進められることとなりますので、現時点では、細かいところまでは詰め切れてないというところになっています。

○1ヶ月前の話にしてはかなり残念な感じかなとは思いますが。

○高層ビルがこんな狭いところに建つとは思っていませんでした。今のソシオのところに建つと思っていました。

40階も50階も建ったらあれもこれも全部隠れてしまうし、下に何ができる

かわかりませんが、大林組さんなら何ができるか決まっているはずです。それがなかったらできないと思うので、例えばそれがマンションだけじゃなくって、下に駐車場も入るのか、商店もいろんなものが入るんだらうけども。それがいつ頃わかるのか、それによってね、またやっぱりそこに住んでいる者の考え方も変わるし、生き様も変わるので、ここの高層ビルっていうのはちょっとやっぱり向こうにできるばかり思っていたので、ここ 1 ヶ月ぐらいで知ったんだけども、これはちょっと意外ですね、こんな三角の狭いところに高層ビルを建てて大丈夫なんでしょうか。あと、隣接する線路との間の道路は今と同じぐらいの広さでしょうか。

- まず場所について、今現在が駅前ビルによって閉鎖的な空間になっているところを改善したいというところがあり、南側に住宅棟を建てて、北側につきましては、低層の商業施設を設けて、駅から市役所方向、市の中心部に向けては開けた空間にしたいという思いがあって、南側に配置した計画を考えているということです。

狭い場所ではありますが、その範囲で建築可能な建築物というものを検討しており、阪急の線路との間の道は、4mの通路を確保していく考えです。

- 市民のいろんな意見、永代町とか別院町とか周辺に住んでいる方の意見も聞いてなくて、これはもう市がそのように進めてたと思いますが、もう少し、周囲の住んでいる市民の意見も聞かないと、色々な影響があるし、全てが隠れたり、日当たりのこと日照条件もあるので、余りにも話が一方的にね、これはここに建てると決めたのはちょっと意外だと思うし、長いこと 48 年住んで茨木の駅前に住んでてこれはちょっとね。私もその前の茨木で仕事してたので、お店持ってたから、だからこれはちょっと余りにも極端で、この部分の高層ビルはとてもしゃないけども、ちょっと信じられないような感じですね。だからもっと詳しく説明して、近所の人意見もよく聞かないとねもう決まってるような状態ですから、後の問題でどういうものができて何がどうなるのかももっと詳しく説明してくれないと。ちょっとやっぱり、なかなか難しいですね、一方的に進め過ぎだと思えますよ。もう少し役所の人もちゃんと考えてもらわないと。

- 土地利用ゾーニングと完成イメージを書いているんですけども、これ 10 年後 20 年後 30 年後ということで計画を立てていますが、例えばこれを立面で物を考えるとかね、平面で考えないで、もうちょっとやりようがあるんじゃないかと思えます。そうすれば、50 階のものも平均的に下げて低く建てるとかというような形ができる部分も知恵を出せばできるんじゃないかと思えますので、検討していただければありがたいです。

○先ほど、法律に基づいて、告知期間等、意見の募集期間はこのままでいくというふうに言われたので、その中で、市の方が努力できる点として告知を広めるということだと思っんですけれども、この計画の中で、茨木の周辺まちづくり学集会というのがあったり、周りのビルが今話されたようにあったということで、この第1期計画が始まるとほかの部分が大きく、ある程度、枠の中で決まると思うんで進んでいくと思います。周辺の住民まで告知する必要が少し出るなというふうに感じるので、今現在のホームページの閲覧数だとか、印刷物でどうやって告知をしているか。あと、まいた枚数、私は議員の印刷物からこの情報を知ったんですけれども、ホームページとかそういった広告に対して、市の今回の告知に対する予算、配分をどの程度とって、今後はどういうふうにしていくかっていうのを、今の段階でお考えと、もし数字がわかれば閲覧数だとか印刷物をまいた地区まで教えていただきたいです。

●閲覧数については、数字を持ってないのでお答えはできないのですが、今回に限って申しますと、市の広報誌と市のホームページ、それと、西口の周辺の自治会長さんをお願いしまして、この説明会の開催案内の文書の回覧をお願いして周知をさせていただきました。それと、直近で申し訳なかったのですが、ツイッターとフェイスブックを活用して、周知をさせていただいたところです。今後の周知の仕方は、今回ツイッターやフェイスブックも有効な活用ができたということで、そういうものも活用しながら、できるだけ多くの方に知っていただく取り組みを今後工夫して進めていきたいと思っています。

○市の方で予算を取ってまいた広告というのはないということでしょうか。

●はい。これに関する周知について特別に予算というのはなく、その課ごとで与えられてるコピー代というのを活用してということになり、各自治会の班の部数を印刷し、自治会長さんに依頼して、回覧で周知をお願いしたというところになります。

○市の広報もわかりにくいです。まず阪急の駅を利用されている皆さんにもこういう開発があるってことを知っていただくために、ソシオさんは民間施設なので無理だと思いますが、市の駐車場とかの壁にせっかく綺麗につくられている冊子がありますから、こういうのとか今回のこういう計画のやつを大きめにして皆さんに知っていただけるように、普段こういうところに来られない方も見えるような広告物をつくっていただきたいです。お願いしたいです。